

学びの場『こころとからだの寺子屋』について

介護支援を受けている皆様、家族介護支援者の皆様、介護支援現場で従事されている皆様、介護支援を学ばれている皆様、こんにちは。

こころとからだの寺子屋は「介護支援をもっと楽にしたい」「もっと深く学びたい」と思っている方への学び場の一つです。

昨今の介護事情は暗い内容ばかり表に出ています。しかし大変な中でも「何とかしたい」「こういうことが必要だ」など向上心を持った方々も大勢います。そのような方々と共に学びあい、介護支援を受ける方々、またその家族が楽になるような、介護支援を学んでいる方が自信を持って実践の現場に立てるようにという思いからこの学び場を作りました。ぜひ皆様も一緒に学びあって行ければと思います。

① 学びの場の主旨

- ・知識、技術が向上することにより、要介護者に対して適切な支援を行えるようになる
- ・知識、技術が向上することにより、介護者の身体的な負担を軽減する
- ・身体的な負担を軽減することにより、精神的な負担も軽減する
- ・精神的な負担を軽減することにより、身体的な負担も軽減する
- ・介護現場で独自の技術になっている介護支援技術を、根拠がある介護支援技術に昇華する
- ・様々な事例から、基本を基にした応用力を身につける
- ・日常生活にも使える身体をつくる

② なぜ介護支援技術なのか

- ・介護現場で介護支援技術に関する研修が多く扱われているが、その事業所に特化した内容が多い
- ・認知症がある方、介護支援拒否がある方などに対する知識はあるが、実際に行う技術に反映されていない
- ・体格、経験の差によって、我流になりやすい
- ・家族介護者もふくめ、基礎知識がなく、その場の技術になっている
- ・腰痛が多い
- ・知識を学ぶ研修は多いが、介護支援技術は少ない(独自の内容が多く基礎的根拠が学べない)
- ・知識が技術に反映されていない

以上の問題点があるため、各々の事業所独自の物では無く、新しい技術を身につけるわけでもなく、要介護者と介護者双方の基本的な身体の使い方から、身につけていく場にするため、まずは介護支援技術から取り組む。しかし知識も大切。本来は知識に基づくものが必要であるため知識も当然学べる場としていく。

③ 基本的な学びとは

前述にもあるように介護支援技術は知識に基づいて根拠を見だし、技術として提供する事が必要であるが、「そもそも身体の動き方や、使い方はどうなのか？」を学ぶことが必要と考える。学びの分野で言えば「こころとからだのしくみ」「介護」の分野になる。養成校や初任者研修などでは分けて学ぶが、その分野ごとに知識が別れてしまっており「どう結びつけて良いか？」がわからなくなっている介護現場の職員が多い。そのため各分野の学び直しから、学んだ知識を結びつけられるような場にしたい。

④ 学びの場のかたち

- ・学びの場の専用オープンチャット
質疑、応答、情報共有を行っていく
- ・学びの集合研修
定期的に介護支援技術の技術を学び合う
- ・自走できる学び
主宰者が不在（研修に参加できなくても）でも継続して開催できる場にする
- ・現場で実践する
学んだことを介護現場で実践できるようにする
- ・指導できる介護者の育成
介護現場で実践ができ、後進だけではなく、家族介護を行っている家族にも助言ができる介護者を育成
- ・介護研究の場にしていく
ゆくゆくは介護研究の場にしていき、学びあったことをカタチにしていく

⑤ 参加要件

- ・介護力を向上させたいと思っている方
 - ・介護に興味がある方
- 介護資格をお持ちでない方も歓迎いたします。

「真剣な学びの場にしたい」という思いがあります。そのため反応がない方は参加をお断りします。各々勤務の都合や家庭の事情はあるかと思しますので集合しての研修の参加はもちろん強制しません。オープンチャットでの発言も発言しにくい方もいらっしゃると思います。しかしリアクションスタンプでの反応ぐらひはしていただきたいと思ひます。まったく反応のない方はメンバーから外れていただきます。

⑥ 参加費

- ・現状は、会費などは設定しない
- ・集合研修の参加費は会場費を徴収
- ・外部に講師を依頼した場合は別途徴収
- ・単発参加は規定の参加費を徴収

参加方法

- ・下記の QR コードから参加フォームへ
- ・下記のアドレスに氏名、連絡先を入力（返信でリンク先を案内します）



ご質問等ございましたら下記のアドレスへお寄せください。

メール

高倉:togo39@gmail.com

堀口:karadakoubou.ho@gmail.com